

津波の時

揺れを感じたり、津波警報を見聞きしたら、
すぐに高台へ逃げよう！ 徒歩避難が原則！

- POINT!** ◆原則として歩いて避難しましょう。車での避難は交通渋滞による避難の遅れや、警察や消防などの緊急車両の通行の妨げにつながります。また、状況に応じて、車での避難は歩行が困難な要配慮者を優先しましょう。
- ◆気象庁から発表される津波警報・注意報を把握して、津波に備えましょう。

津波警報等の種類	予想される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動	避難のポイント
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超* (10m<高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、 <u>ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難</u> してください。	震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、 <u>すぐに避難を開始</u> しましょう。 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。 津波は長い時間 <u>くり返し襲ってきます</u> 。津波警報・注意報が解除される <u>では、避難を続けましょう</u> 。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ<5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、 <u>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</u> してください。	
津波注意報	1m* (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 <u>海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください</u> 。	

※(注) 高さ：予想される津波の最大波の高さ

スズメ①

事前にわたしの避難計画を立てましょう

わたしの避難計画(マイ・タイムライン)とは、地震、津波、大雨や台風が接近した際の自分自身や家族の避難行動をあらかじめ具体的に確認しておくことで、いざという時の避難に役立てるものです。家族、地域、職場などで津波避難について確認しましょう。

ステップ1

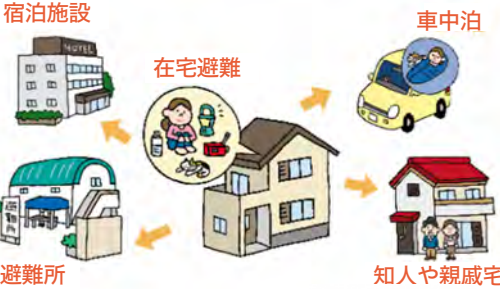
うるマップの防災で、自宅又は、学校・職場などが津波災害警戒区域にあるかを確認しましょう。

ステップ2

最寄りの高台の避難先を確認しましょう。
避難とは難を逃れること、自宅等が安全な場合は留まることも避難です。
※避難先に移動・到着するまでの必要な時間も事前に歩いて確認しておきましょう。

ステップ3

気象情報や避難情報の収集手段を決めましょう。テレビやラジオ、うるま市公式LINE、うるま市防災減災アプリなど。また、離れた家族や知人から連絡することも大切です。



スズメ②

お住まいの「地域の自主防災会」に参加しましょう

全ての自治会が自主防災会を結成していますので、地域の防災訓練や研修会等に参加して、日頃から情報交換を行いましょう。また、防災士の資格取得(補助)の推薦もありますので積極的に活用しましょう。

知ってた？
避難所と避難場所の違い。



避難場所
(いったん逃げる場所)



避難所
(避難生活できる場所)